

■大岡忠相(越前守) 将軍吉宗の<享保の改革>で町奉行に抜擢され、公平な裁判と優れた市政、異例の出世で大名に。

おおかたただすけ

・ ・ ・ ・ ・ 1677 = 江戸に生れる。先祖は徳川氏三河以来の譜代、忠高の第4子。

徳川綱吉将軍1680 = 3歳 :

堀田正俊暗殺1684 = 7歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1686 = 9歳 : 同姓の忠真の養子となる。

奥の細道・ ・ 1693 = 16歳 : 実兄が八丈島に流罪。

生類憐令頂点1695 = 18歳 :

荻原勘定奉行1696 = 19歳 : 一族の忠英(書院番)が番頭を殺害して自殺する事件が起き、一族とともに連座するという不幸にあう。

・ ・ ・ ・ ・ 1700 = 23歳 : 養父が没して、その遺跡1920石を継ぎ、寄合となり、

赤穂浪士討入1702 = 25歳 : 書院番士、

団十郎刺殺・ 1704 = 27歳 : 徒頭、

富士宝永噴火1707 = 30歳 : 使番、

シトツ拘束・ 1708 = 31歳 : 目付を経て、

徳川綱吉没・ 1709 = 32歳 :

乾山陶器店・ 1712 = 35歳 : 山田奉行となり、従五位下能登守となる。

和漢三才図会1713 = 36歳 :

徳川吉宗将軍1716 = 39歳 : 普請奉行に転じ、

隅田川の桜・ 1717 = 40歳 : 町奉行に昇進(以降60歳までの約20年間この職)、越前守と改める。

・ ・ ・ ・ ・ 1722 = 45歳 : 関東地方御用掛を命じられ、

火の見櫓制・ 1723 = 46歳 : 職務精励の賞を受ける。

近松没・ ・ ・ 1724 = 47歳 : 地方御用掛兼務の褒賞。

・ ・ ・ ・ ・ 1725 = 48歳 : 2000石加増。

・ ・ ・ ・ ・ 1731 = 54歳 :

享保大飢饉・ 1732 = 55歳 :

悪鑄再開・ ・ 1736 = 59歳 : 寺社奉行に栄進、2000石加増、一万石格となる。

・ ・ ・ ・ ・ 1740 = 63歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1743 = 66歳 : 御定書追加の評議に参与。

徳川吉宗隠居1745 = 68歳 : 関東地方御用掛兼務を免除される。

忠臣蔵・ ・ ・ 1748 = 71歳 : 奏者番を兼ねる。4080石を加えて都合1万石の大名となり、三河国額田郡西大平に陣屋をおく。

・ ・ ・ ・ ・ 1749 = 72歳 :

徳川吉宗没・ 1751 = 74歳 : 病のため寺社奉行、奏者番両職の辞任を申し出、寺社奉行のみ許されたのち、没した。

評定所一座の座を都合35年占め、有能かつ誠実な実務官僚であったことを示し、その業績も多大である。